

広報

ふじ

平成25年

2 | 20 No.1049



もくじ

- ② 富士市の災害の歴史
- ③ 最新!!バス情報教えます
- ④ 人間ドック・脳ドックの助成
- ⑤ 電子証明書の有効期間/セカンドライフの顔
- ⑥ 1月のできごと
- ⑦ 暮らしのたより
- ⑧ 3月のカレンダー

2月2日 福を呼ぶ?! 恵方巻きづくり (岩松まちづくりセンター)





地震・津波(1854年) 1 2 噴火(1707年)
高潮(昭和?) 3 4 台風(1982年)



1 田地変じて湖水となる図『嘉永七甲寅歳地震之記』(沼津市明治史料館蔵) / 2 宝永四年富士山噴火絵図(個人蔵)
3 冠水して泥海となった浮島沼周辺の惨状 / 4 富士川鉄橋の流失 ※静岡歴史文化情報センター提供。

知っていますか？

富士市の災害の歴史

皆さんは、過去に富士市を襲った災害を知っていますか？
東日本大震災を教訓として、みずから暮らす地域で過去に起こった災害の歴史を正しく理解し、学ぶことは、防災対策の第一歩です。
そのため市は、これまでに富士市を襲った自然災害などの歴史をまとめました。今回は、その一部を紹介します。

災害の歴史を防災に生かす

■東日本大震災は「想定外」？

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。この震災では、マグニチュード9.0の地震規模や津波の高さなどに「想定外」という言葉がたびたび用いられました。しかし、本当に「想定外」だったのでしょうか？

岩手県内には、「津波浸水想定区域」の道路標識や、過去の津波浸水の高さを示す標識が数多く設置されていますが、これらの多くは東日本大震災による津波浸水状況と合致しています。

また、津波によって2万人近い尊い命が奪われた反面、あの過酷な状況の中で、20〜30万人がみずからの命を守り抜いています。これは、過去の災害の教訓を親から子へ、子から孫へ伝え続けてきた努力のたまものです。

■災害の歴史から教訓を得る

災害による被害を正確に記録し、みずから暮らす地域で過去に起こった災害の歴史を学ぶことは、防災対策につながります。

そこで市は、これまでに富士市を襲ったさまざまな自然災害などに焦点を当て、災害史としてまとめました。どのような自然現象が起こり、被害が生じたのか、さらにどのような対応策がとられたのかなど、現代を生きる私たちにとってさまざまな教訓になる内容をわかりやすく記しています。

地震・津波



安政東海地震

東海道筋地震大津波大出火図

(防災専門図書館蔵・写真左)

1854年11月、遠州灘の御前崎沖を震源とするマグニチュード8・4の巨大地震が発生し、県内は沼津から天竜川河口にかけて大きな被害を受けました。左の「東海道筋地震大津波大出火図」には、「吉原丸焼け」「不二(富士)川は、水がなく歩いて渡る」「岩淵半分焼け、後は潰れる」と記されています。誇張されている表現はありますが、吉原以西の東海道沿道や伊勢湾沿岸の各地区の被害の様子をうかがい知ることができます。

伊藤鍊次郎の『手記』に見る地震記録

安政東海地震発生時の生々しい様子や被害などは、伊藤鍊次郎の『手記』に記されています。鍊次郎は当時の富士郡伝法村田端の人で、39歳のときこの地震を経験しました。その後、伝法村役場からの依頼でこの体験記をつづり、76歳のとき『手記』が完成しました。

伊藤鍊次郎の『手記』から

●地震後の様子

鍊次郎の家は半壊となり、南方角の家はすり鉢を伏せたように潰れました。地震により伝法村では、大きい所で長さ2・7メートルほど地面が裂け、割れ目の幅は30センチメートル、深さは約120センチメートルほどのところがありました。



川窪遺跡(厚原長沢)で発見された断層

●地震山の出現

富士川流域は、安政東海地震による土地の隆起や陥没が非常に激しく、地形が大きく変わりました。鍊次郎は、「東岸はくぼ地となつて、西岸は木島村下から蒲原前まですべて高くなり、中之郷前の川の瀬から西は地震山と言われ、山のように隆起した」と記しています。

現在は確認できませんが、明治20年測図の地形図に「蒲原地震山」と図示

され、昭和53年発行の『目で見る庵原の歴史』にも、左の地震山の写真が紹介されています。

この隆起や陥没の影響で、富士川の流路が東寄りに変化したため、森島や宮下などの富士川河口近くの村々は洪水に悩まされるようになりました。



蒲原地震山

●ディアナ号の遭難

地震発生から数週間後、宮島沖にロシアの軍艦が漂着しました。鍊次郎の『手記』には、「ロシア軍の船が地震の被害に遭い、船が傷んだため水舟で上陸した。ロシア人たちは、船から陸へ大綱を張つて荷物を海へ投げ込み、綱に手をかけて陸へ上がり、荷物を浜に広げて干していた。珍しいものばかりで、富士郡の人たちは地震の被害で我が身の居どころも定まらない状態であることを忘れ、連日見物に訪れた。代官の命令により、近隣の村が炊き出しを行った」と記されています。

津波は富士市に来たか？

由比宿寺尾で問屋場の業務に携わっていた小池太三郎の『年代記話傳』によると、由比海岸では津波だけでなく海岸に土地の隆起があったことがわかります。

また、沼津藩士であった山崎継信が書いた『嘉永七甲寅歳地震之記』(2ページ写真①)によると、鷲頭山(現在の沼津市)近くでは、水田が地盤沈下してくぼ地になり、そこへ津波が入り込んで湖水になった様子が描かれています。

しかし、富士市の海岸に「津波が押し寄せた」「津波による被害を受けた」などの記録がないため、津波が来たかどうかは詳しくわかっていません。



ディアナ号乗組員救助図(富士市立博物館蔵)



鈴川停車場(現在のJR吉原駅)の浸水

田子浦の海嘯(高潮)

田子浦村と元吉原村の被害

海嘯とは、台風などの影響により満潮時に起こる高潮が河川をさかのぼる現象のことです。

1899年10月、田子浦村や元吉原村鈴川沿岸一帯に台風の影響による海嘯が押し寄せ、大きな被害を受けました。当時の様子は、『富士郡田子浦村誌』や当時田子浦小学校長だった鈴木七四郎が編さんした『田子浦海嘯始末』に詳細に記録されています。

この海嘯により、田子浦村では北側の集落の交通が遮断され、西側の五貫島や三軒屋では堤防が破壊され、東側

では沼川や潤井川の河口から大波が入り込んできました。被害地域は、前田新田から四軒屋まで4キロメートルに及びました。新浜、前田新田などは一帯が砂原のようになって、家は壁が壊れたり傾いたりして、多くの犠牲者が出ました。

また、元吉原村鈴川の砂山地区では、財界人などの別荘地が大きな被害を受けました。さらに、鈴川停車場や近くの旅館、運送店、飲食店なども浸水し、荷物などは塩水に侵されて大損害となりました(写真上)。

海嘯碑の建立

海嘯被災の惨状が新聞などで全国に報道されると、各方面からの義援金が集まりました。明治天皇、皇后両陛下、皇太子殿下からも被災地に見舞金が届きました。

犠牲者の霊を弔うために吉原町の消防組が中心になり、1899年12月、鮫島の林正寺に海嘯碑が建立されました(写真左)。この碑には、海嘯による生々しい被害惨状が刻まれています。



海嘯碑

古くから高潮・高波による被害を数多く受けてきた富士海岸は、現在高さ17メートルの堤防に守られています。

駿河郷土史研究会 渡邊誠さんが語る「吉原宿」災害との戦いの歴史

私は、江戸時代初期から先祖代元吉原地区に住んでいたことなどがきっかけで、10年以上前から吉原宿の研究をしています。

元吉原宿

元吉原宿は、現在の田子の浦港の東側にあつた「見附」の宿が、風波の被害を受けて東へ移転し、今井村と一緒になり、1601年に徳川家康から宿場の指定を受けました。しかし、元吉原地区は砂丘地帯のため、砂が家の中に始終舞い込み、1639年ごろには砂山が崩れて駅舎を埋めてしまいました。徳川幕府は宿場の移転を決め、元吉原宿の歴史は約40年で終わりました。



延宝の高潮による中吉原宿周辺の被害状況

中吉原宿

依田橋村の外れから左富士神社を巡り、津田方面に向かって新しく中吉原宿がつくられました。しかし、『田子の古道』によると、「1680年9月の延宝の高潮により、宿場の家並みは全滅し、多くの死者が出たものの、約150人が舟で悪王子の森(現在の左富士神社)に避難した」と記されています(左上図参照)。

新吉原宿

中吉原宿も約40年で終わり、1682年に伝法・依田原(現在の吉原商店街)へ新吉原宿として移転しました。新吉原宿は、幕府から「吉原宿の人たちが望むところを探せ」という指示を受けて、延宝の高潮で流された住宅が止まったところ(現在の吉原宝町)を東境にしました。

17年後、延宝の高潮より60〜90センチメートルも高い高潮に襲われ、新吉原宿も浸水しました。しかし、宿場を移転するほどの大きな被害はなかったため、新吉原宿の住民は胸をなでおろしたと言います。

吉原宿は、風波や高潮の被害により移転を繰り返してきたのです。



災害史の執筆に携わった駿河郷土史研究会 渡邊誠さん(今井1)

水害、噴火

水害、富士山の噴火

■富士川の洪水

富士川は日本三大急流の一つで、大雨のたびに洪水となり流路を変えてきました。流域に住む人は、常に暴れ川「富士川」の危険にさらされてきました。



富士郡加島村宮下水害家屋の一部
真上参照。

『宮下区誌』や宮下山神社「水難記念碑」によると、「1910年8月、大雨で宮下の堤防が決壊。富士川からの濁流が宮下・森島・五貫島などを襲ったため、人家は流失し、田畑は荒地になった」と記されています（写真上参照）。

■宝永山出現「富嶽百景」



宝永の噴火は、1707年11月に起こり、火山性地震の揺れと富士山頂の南東側からの激しい爆発が、16日間にわたり続きました。この噴火は、同年10月4日に東海・南海地域に宝永地震が起こつてからわずか49日後のことでした。宝永山はこの噴火によって出現しました。

防災対策に役立ててほしい

今回の災害史は、過去に市域が見舞われた災害を皆さんに親しみやすく理解してもらい、防災意識を高めていただくためにまとめました。私たちは、大災害の実体験を知らずに暮らしていますが、富士市にはさまざまな災害の歴史があります。

まず、地震や津波は過去に繰り返して起きています。東日本大震災の被害とあわせて教訓として、予想される東海地震に備えてください。

また、過去に富士市は地震だけではなく、「風水害の被害が大きかった」という意識を持ってください。さらに、「川は昔の流れを覚えて

いる」と言います。過去の被害状況や地名が記されているので、自分の住んでいる土地の状況と照らし合わせ、かつて川だった場所などは危険性があることを認識してください。

若い人をはじめ多くの人にこの災害史を読んでいただき、ぜひ防災対策に役立てていただきたいと思います。



災害史を監修した
富士常葉大学
重川希志依 教授

「富士の災害史」を発行します



今回の『過去に学ぶ富士の災害史』の発行にあわせて、災害史本体の内容を地図情報に集約した概要版パンフレットも発行します。

●富士の災害史概要版

- 『過去に学ぶ富士の災害史』
- 内容／富士市の地図をもとに、過去の災害の要点などを紹介
- 規格／A4判両面4ページ
- 発行日／3月1日（金）
- 発行部数／1万部

●『過去に学ぶ富士の災害史』

- 内容／序文、①地震・津波、②水害、③台風・高潮、④富士山の噴火、⑤火災の5章で編成
- 監修／重川希志依富士常葉大学教授
- 執筆／駿河郷土史研究会
- 編集／文化振興課
- 規格／A4判78ページ
- 発行日／3月1日（金）
- 発行部数／5000部



★配布方法★

『過去に学ぶ富士の災害史』と「富士の災害史概要版」は、市内学校や公共施設などに設置するほか、文化振興課（市役所7階）で希望者に無料で配布します。

■問い合わせ■

文化振興課

☎(55)2875 国(53)0780

ky-bunkashinkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

「富士市バスナビ」使ってる？



最新!!

バス情報教えます

バスがどこを走っているのかわからない...



「富士市バスナビ」があれば、
市内を走るバスが一目でわかる



「富士市バスナビ」は、市内を走る路線バスとコミュニティバス、デマンドタクシーなどの公共交通が一目でわかる地図です。路線バスに乗りたい場所から目的地までの運行の有無や頻度が、線の太さなどから視覚的にわかるようになります。

「富士市バスナビ」は
ココが便利

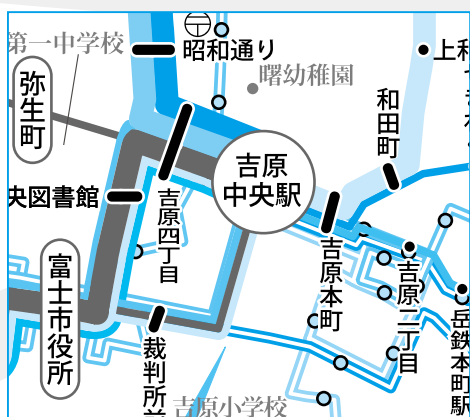
便利1 バス路線を
方面ごとに色分け

便利2 市中心部は、
見やすい拡大図を掲載

便利3 各バスターミナルの
乗り場案内を掲載



便利4 路線バスの各経路の、1日当たりの運行本数を3種類の線の太さで表現



最も太い線は、15～20分に1本の頻度で運行している路線

便利5 各コミュニティ交通などの
情報を掲載

コミュニティバスやデマンドタクシー、高速バスなどの情報を掲載しています。

配布場所

- 市役所
- 2階総合案内、6階都市計画課
- 各地区まちづくりセンター
- 市立中央図書館
- フィランセ
- 富士山観光交流ビューロー（JR新富士駅構内）
- 富士川楽座1階富士市観光案内所
- 富士市交流プラザ
- 富士川ふれあいホール
- 富士急静岡バス株式会社（JR富士駅案内所、JR新富士案内所、鷹岡営業所）
- 山交タウンコーチ株式会社（静岡営業所）
- 石川タクシー富士株式会社

※「富士市バスナビ」は、市ウェブサイトででもご覧になれます。





もっと
バスを
利用して
みませんか

吉原・富士駅北地区コミュニティバス「うるおい」のルート(吉原中央駅～JR富士駅)を変更します

変更日／4月1日

変更点／朝・夕2便ずつ(計4便)を直行ルートにし、昼間5便を巡回ルートに変更

※これまでの運行ルート(変更あり)を巡回ルートとし、朝夕の通勤・通学利用のための直行ルートを新たに設定しました。
※朝7時ごろにJR富士駅に到着するダイヤを設定しました。

丘地区「ダイヤモンドタクシー」「おカタク」のダイヤなどを変更します

変更日／4月1日

変更点／JR入山瀬駅を起点に、着14便、発12便だったダイヤの設定を、「自宅(丘地区内)・停車場などへ迎えに行く時間」とし、どちらの方面へも行ける18便に変更

※「おカタク」の利用には、事前に会員登録と利用予約が必要です。

「東田子アクセスバス」を実証運行します

運行ルート

■朝便(バス停8か所)

浮島まちづくりセンター～須津小学校～JR東田子の浦駅北
■夕便(バス停20か所)
JR東田子の浦駅～中里1丁目～浮島まちづくりセンター

運行期間／4月1日～平成26年3月31日(土・日曜日、祝休日、8月13日、12月29日～1月3日は除く)

運賃

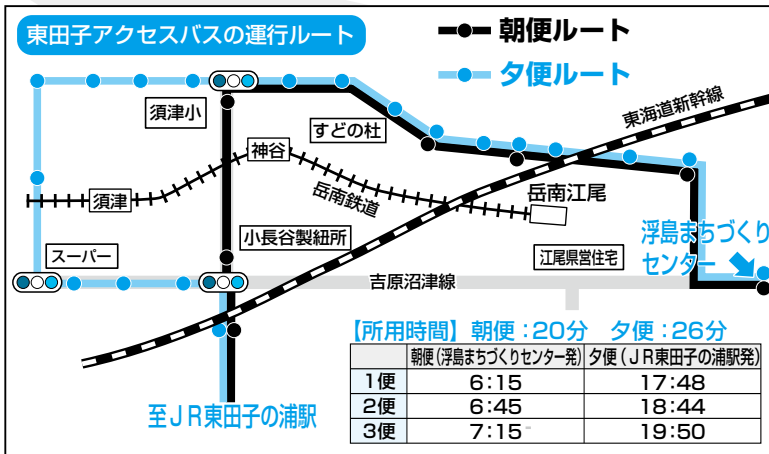
■1乗車200円の定額制(小学生・障害者手帳保持者は100円、未就学児は無料)

■回数券2000円(1000円券22枚つづり)

■1か月フリーパス

一般 6000円
中学生・高校生 4000円
小学生・障害者手帳保持者 3000円

※ただし、4月1～12日は無料。車両／小型バス(24人乗り)



もっとお得に!
市内の路線バス・コミュニティ交通で、1日乗車券・乗り継ぎ割引券の実証実験を実施しています(3月31日まで)。
※詳しくは、市ウェブサイトをのぞってください。

「吉原中央駅～JR東田子の浦駅」JR沼津駅への路線バスについて

4月8日(月)から、吉原中央駅からJR沼津駅へ直行する路線バスがなくなりません。バスでJR沼津駅方面へ行く際は、JR東田子の浦駅でJR沼津駅行きの路線バスに乗りかえてください。

ICカードの全国相互利用サービスを開始します

お手持ちのICカードで、全国の鉄道・バスの乗車が可能になります。(ICカード対応の鉄道・バスのみ)
※ICカード(SuicaやPASMOなど)とは、切符や現金のかわりに電車やバスなどの運賃を支払うことができるカードです。

サービス開始日／3月23日(土)

■JRでPASMOが使用できるようになります。

■富士急静岡バスでTOICAが使用できるようになります。

※PASMOとSuicaでは、バス運賃の割引サービスを受けられません。

問い合わせ

富士急静岡バス株式会社

☎(71)2495
☎(71)5860

問い合わせ

都市計画課

☎(55)2904
☎(51)0475

✉toshikai@div.city.fuji.shizuoka.jp

人間ドック・ 脳ドックの助成

富士市国民健康保険に検査日からさかのぼって1年以上加入し、納期内の国民健康保険税を完納している世帯の20歳以上の人は、指定する検査機関で人間ドック・脳ドックを受診する場合、国民健康保険から助成が受けられます。

1 対象

- ・ 検査日からさかのぼって1年以上富士市国民健康保険の被保険者で、検査日まで引き続き加入している人
- ・ 平成25年4月1日時点で満20歳以上の人で、後期高齢者医療制度に該当しない人
- ・ 国民健康保険税を完納している世帯の人
- ※脳ドックの助成は3年に1度です。平成23・24年度に助成を受けた人は申し込みできません。
- ※人間ドック・脳ドックは、年度中にどちらか一方の助成しか受けられません。
- ※40歳以上の人は特定健康診査・特定保健指導の対象ですが、人間ドック・脳ドックには特定健康診査の検査項目が含まれていないため、ドックを受診することにより特定健康診査を受けたことになりません。
- 先に特定健康診査を受けると、人間ドック・脳ドックの助成は受けられませんのでご注意ください。

2 申込方法

1 検査機関に予約

富士市が指定する検査機関(下記の検査機関一覧を参照)に、国民健康保険の助成を受けることを申し出て予約します。

※検査機関ごとに検査実施日や受け入れ人数が異なりますので、予約の際に検査機関にお尋ねください。

2 国民健康保険課へ助成の申請

予約がとれたら、国民健康保険課の窓口で助成の申請をし、助成券を受け取ります。

申請期間 / 3月22日～12月20日

8時30分～17時15分

※土・日曜日、祝日は除く。

持ち物 / 保険証、特定健康診査受診券(40歳以上で手元に届いている人。なお、特定健康診査受診券は、5月下旬に発送予定です)

3 検査機関で受診

受診期間 / 4月1日～平成26年3月31日

持ち物 / 国民健康保険課で受け取った助成券、保険証、検査機関から届いた問診票、検査用品、自己負担金など

※詳しくは各検査機関にお問い合わせください。

検査項目(各機関に共通するもの)

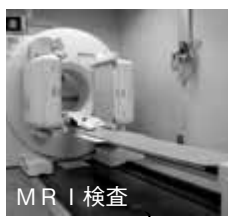
(人間ドック)

身体計測、血圧測定、視力・聴力検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査、肺機能検査、胸部X線検査、上部消化管検査、血液検査、尿検査、便潜血検査

※前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を受けられる検査機関もあります。

(脳ドック)

MRI・MRA検査、身体計測、血圧測定、心電図検査、胸部X線検査、眼底検査、尿検査、血液検査



MRI検査

※検査機関によって検査項目が異なります。ご確認の上、お申し込みください。

ご注意ください

後期高齢者医療制度の被保険者(75歳以上の人と、65歳以上で一定の障害のある人)で、市内に住所がある人は人間ドック・脳ドックの助成を受けられません。申込方法や検査項目、自己負担額は国民健康保険の加入者と同じです。詳しくは、国民健康保険課(4月から国保年金課)の高齢者医療担当 ☎(55) 2754 にお問い合わせください。

問い合わせ / 国民健康保険課

給付担当

☎(55) 2751 ☎(51) 2521

※4月1日から、国保年金課に名前が変わります。

検査機関一覧

人間ドック			脳ドック		
検査機関(住所)	自己負担額	電話	検査機関(住所)	自己負担額	電話
富士市医師会医療センター(伝法2850)	1万1,970円	52-3111	市立中央病院(高島町50)	1万6,800円	52-1131
三村クリニック健康管理センター(永田町2-60)	1万1,970円	53-0033	聖隷富士病院(南町3-1)	1万6,800円	52-0780
富士健診センター(柚木392-5)	1万1,970円	64-4421	池辺クリニック(川成新町250)	1万1,810円	65-0250
宮下医院(平垣本町4-1)	1万2,000円	61-0376	いそえ脳神経外科クリニック(松富町51-1)	1万5,750円	62-1000
川村病院(中島327)★	1万2,000円	61-4050	田中クリニック(久沢1652-1)	1万5,750円	71-0160
田中クリニック(久沢1652-1)	1万1,970円	71-0160	共立蒲原総合病院(中之郷2500-1)	1万6,800円	81-3324
共立蒲原総合病院(中之郷2500-1)	1万1,970円	81-3324	ふじの町クリニック・健診センター(富士町12-12)	1万2,600円	32-7711
新富士病院健康管理センター(大淵3900)★	1万1,040円	36-2211			
ふじの町クリニック・健診センター(富士町12-12)	1万 550円	32-7711			

※★の川村病院と新富士病院健康管理センターは上部消化管検査(胃の検査)をレントゲン検査(バリウム)にすると、自己負担金が変わります。

川村病院 / 1万1,500円 新富士病院健康管理センター / 9,090円

※富士健診センターの胃カメラの経鼻・経口は別料金です(各3,150円)。

※共立蒲原総合病院の胃カメラの経鼻は別料金です(1,575円)。

※検査項目については、各検査機関へお尋ねください。

電子証明書の有効期間は

大丈夫ですか？



イタックス
e-Tax (国税電子申告・納税システム)

などで利用する電子証明書の有効期間は、発行日から3年間です。有効期間切れなどで、失効していませんか。

電子証明書が失効する場合

- ・電子証明書の発行日から、3年を過ぎている
- ・有効期間中に氏名や住所に変更があった

※失効した場合、電子申請や届け出に使用できなくなりますので、更新手続きが必要です。

電子証明書の更新

申請日時／月～金曜日 8時30分～17時
(日曜開庁時は受け付けのみ。発行は後日)

※本人申請の場合のみ、即日発行が可能です。

申請場所／市役所2階市民課
持ち物／住民基本台帳カード、本人確認書類(運転免許証など官公署の発行した顔写真つきのもの。氏名・住所が現在と異なるものは不可)

※住民基本台帳カードが顔写真つきの場合、本人確認書類は不要です。
手数料／500円



住民基本台帳カード取得時に電子証明書の発行を申請すれば、カードの中に電子証明書が記録されます。

注意

カードに記載されている年月日は、住民基本台帳カードの有効期限です。電子証明書の有効期限ではありませんので、ご注意ください。

電子証明書の有効期間の確認方法

自宅のパソコンでICカードリーダーライター(ICカードに記録された情報を読むための機器)に住民基本台帳カードを挿入または接触させると、有効期間が表示されます。

更新後の有効期間は、更新の日から**3年間**です。現在の電子証明書が失効した後でも、新しい電子証明書を発行できます。



※確定申告の時期(3月15日まで)は窓口が混雑しますので、時間に余裕を持って来庁してください。

問い合わせ 市民課 ☎55-2747 ☎53-3064

セカンドライフの顔

第8回

問い合わせ

市民協働課 ☎55-2701

「セカンドライフ」は主に、定年退職後や子育て後など第2の人生を指します。このコーナーでは、セカンドライフを楽しんでいる還暦世代の人を紹介いたします。

今回紹介するのは、**宮野征男さん**(厚原)。退職後は、趣味のコーラスを通じて、これまでできなかった地域社会とのつながりを深めています。

歌を通じて元気を伝えたい

私は、もともと歌うことが好きだったので、退職後にコーラスグループに入りました。現在4つのコーラスグループで、最も低い声部である「バス」を担当し、練習を重ねて、高齢者施設や小学校の音楽の授業に出向いて歌っています。また昨年は、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市に行き、「少しでも元気になってもらえれば」という気持ちでコーラスグループのみんなと歌ってきました。

私の一番の楽しみは、高齢者と一緒に歌うことです。懐かしい歌を一緒に歌うことができるのと、とてもうれしいですね。これからも歌を通じて、たくさんの人に元気をもらったりあげたりしながら、地域社会の役に立ちたいと思っています。



所属しているコーラスグループの一つ「アミーコ・フェリーチェ」で歌う宮野さん [右]

セカンドライフについて詳しくはセカンドライフ相談室へ
事務局／一般社団法人まちの遊民社 ☎(51) 11112

1月のできごと



▲講師の指導を受けながら、「つよい心」の「心」の文字を練習

半紙と真剣に向き合って

鷹岡書道会の皆さんを講師に迎え、新年の決意を新たに「書き初め大会」が行われました。
参加した鷹岡小学校3～6年生の子どもたちは、大きな半紙を広げ、手本を見ながら、一文字ずつ真剣に書いていました。
講師は、一人一人の字を見ながら、書き方のポイントを教えたり、筆を持って一緒に書いたり丁寧な指導。最後には、力作が書き上がり、参加した子どもたちは満足そうな表情で作品を眺めていました。

書き初め大会

1月4日 鷹岡まちづくりセンター



▲青果部門で行われた地元産の菓物の競り

大きなかけ声とともに競り開始

新春恒例の初売式。4月から民営化されるため、公設で行われるのはこししが最後になりました。
水産部門から式が行われ、その後、威勢のよいかけ声とともに競りが開始。田子の浦漁港で水揚げされた立派なタチウオのほか、産地直送のキンメダイやカレイなどが次々に競り落とされました。
その後に行われた青果部門では、地元産のホウレンソウ、コマツナなどの菓物が競りにかけられ、競り人と買受人の大きな声が市場の中に響き渡りました。

公設地方卸売市場初売式

1月5日 公設地方卸売市場



▲「落ち葉のプール」に使われた枯れ葉は、10日間で120リットル×72袋分

全身で自然を感じる

ことしで6回目を迎える落ち葉のプールは、直径約4メートルの丸型プールに市内の公園から集めた枯れ葉を入れてつくられます。
その後、使われた枯れ葉は細かくし、富士西公園内の樹木の肥料として再利用されます。
この日は、たかおか幼稚園の園児約150人が来園。園児たちは、プールに入ると、中に潜ったり、園児同士で落ち葉をかけ合ったりと大はしゃぎ。枯れ葉のやわらかな感触を全身で楽しんでいるようでした。

落ち葉のプール

1月11日 富士西公園



▲「二十歳の誓い」を力強く宣言した13人の成人式実行委員

大人への決意を胸に

平成25年富士市成人式
1月13日 ロゼシアター

新成人の門出を祝う成人式が行われ、2016人が出席しました。ことしは、成人式実行委員会の企画・運営のもと、初めて「新成人応援プログラム」が行われました。中でも、出身中学校の恩師からの応援メッセージがスライドで紹介されると、会場から歓声が上がりました。その後、実行委員による「二十歳の誓い」が宣言され、将来の夢や家族への感謝の気持ち、今後の抱負などが語られました。



▲くすのき学園でトイレットペーパーこん包の作業の割り振りなどについて説明を受ける受講者

障害者支援の今を知るために

福祉キャンパス福祉講座
1月24日 福祉キャンパス

障害者への理解と協力を深めるために毎年行われている福祉講座に、ことしは19人が参加しました。受講者は、施設の説明を受けた後、ふじやま学園では居住スペースを見学。社会生活への適応を目的としたきめ細かな支援についての説明を受けました。また、就労支援をしているくすの木学園では、トイレットペーパーのこん包作業を見学。受講者は、工程についての説明を聞き、一生懸命作業を進める利用者の姿に理解を深めているようでした。



▲火からおろした鍋に、鍋帽子をかぶせる参加者

鍋帽子®を使ってエコクッキングに挑戦

富士発・女と男のフォーラム
1月26日 フィランセ調理室

男女共同参画の発信を目的とした「富士発・女と男のフォーラム」。今回は、鍋帽子を使ったエコクッキングが行われました。綿入りの布でできた鍋帽子は、火からおろした鍋にかぶせることで、保温・調理ができる道具です。通常20〜30分煮込むカレーも、鍋帽子を使うと、10分ほどの加熱で済みます。18人の参加者は、使い方などを聞いた後、鍋帽子を使い、煮しめやご飯など5品を手際よく調理。試食では、味のしみ込んだ料理のできばえに、大満足の様子でした。

募集

第35回 富士ふれあいウォーク参加者 歩く楽しみ再発見「茶畑・丸火自然公園」コース

りぷす富士（温水プール） ☎36-2131

とき／5月26日(日) 受付 7:00～
スタート 8:20 ※雨天決行。

集合場所／富士総合運動公園陸上競技場
コース／A10キロメートル（茶畑コース）
B20キロメートル（丸火自然公園コース）

対象／A 4時間以内で歩ける人

B 6時間以内で歩ける人

定員／A・B合計1,000人（先着順）

参加費／1,000円（小学生以下無料）

申し込み／3月15日～4月15日（消
印有効）に、はがきまたはFAX・
Eメールに代表者の住所、氏名、年
齢、電話番号、コース（A・B）、
出場者全員の氏名、年齢（1枚に
つき5人まで）を記入し、〒417-
0801 大淵254-1 りぷす富士温水
プールへ ☎35-5464

✉fujifureaiwalk@fuji-kousya.jp

ウルトラトレイル・マウントフジ2013 ボランティアスタッフ

スポーツ振興課 ☎55-2722

内容／①エイドステーションボラ
ンティア：選手へのおもてなし、
食料支給など ②STY開会式ボラ
ンティア：受付、荷物預かり、選
手の誘導補助など

とき／①4月26～28日のうち希望
日 ②4月26日

ところ／①各市町村エイドステーシ
ョン ②富士山こどもの国

※食事を用意し、会場へ各自で来てください。
報酬／なし（スタッフウェアを支給）

対象／15歳以上の人（中学生不可）

申し込み／3月31日(日)（必着）までに、
アールビーズスポーツ財団ウェブサイト
（☎https://rbssvs.jp/volunteer/）で
会員登録し、希望するボランティア（①
・②）を選択後、必要事項を入力

※詳しくは、大会ウェブサイトをご
らんになるか、電話かEメールで
ウルトラトレイル・マウントフジ
実行委員会事務局 岡嶋 方へ。

☎090-3006-7231

HP <http://www.ultratrailmtfuji.com>

✉ volunteer@ultratrailmtfuji.com

自衛隊採用制度説明会

市民課 ☎55-2746

とき／①3月3日(日) ②3月9日
(土) 各10:00～15:00

ところ／①富士駅南まちづくりセン
ター ②今泉まちづくりセンター

申し込み／当日直接会場へ

問い合わせ／自衛隊富士地域事務所
☎51-1719



献血にご協力を

福祉総務課 ☎55-2757

3月の献血

日	場所	時間
7日(木)	市役所駐車場	9:30～16:00
10日(日)	ジャンボエンチャー 富士店駐車場	9:30～16:00 (昼休み12:00～13:15)
21日(木)	市役所駐車場	
29日(金)		

富士市食育講演会（無料）

「ウエル噛む」～噛む・食べる・生きる～

保健医療課食育推進室 ☎55-2884

とき／3月17日(日) 13:30～15:30

ところ／消防防災庁舎7階大会議室
講師／田沼敦子さん（千葉市高浜
デンタルクリニック院長）

定員／200人

申し込み／3月6日(水)までに、電話
またはFAXに氏名、電話番号、職
業、託児希望者は子どもの年齢を
記入し、保健医療課食育推進室へ
☎53-5586



移動図書館車ふじ号の巡回日程

中央図書館 ☎51-4946

日	場所と貸し出し開始時刻
1日・15日(金)	セブン-イレブン中里店駐車場 (10:00) マックスバリュ富士江尾店駐車場 (11:00) 加島の郷 (1日の14:15のみ) 四丁河原南公会堂駐車場 (15:00)
2日・16日(土)	鈴川中町フードランド前 (10:00) 松野まちづくりセンター (16日の14:00のみ)
5日・19日(火)	ハックドラッグ川成島店第2駐車場 (14:00) JA富士市堅堀支店駐車場 (15:00)
6日(水)	駿河台団地 (14:15) 富士見台市営住宅集会所前 (15:00)
7日・21日(木)	滝戸団地前 (14:00) 岩本山団地集会所駐車場 (15:00)
9日・23日(土)	富士信用金庫中丸支店駐車場 (10:00) きぎょうの郷駐車場 (9日の14:00のみ) 富士南まちづくりセンター (15:00)
14日・28日(木)	歴史民俗資料館駐車場 (15:00)

休館日／4・11・18・22・25日

※都合により中止・変更する場合があります。

お知らせ

依田原三丁目町内会が 宝くじ助成を受け山車を修繕

まちづくり課 ☎55-2887

地域コミュニティの健全な発展を
図り、伝統文化を後世に引き継ぎ、
地域全体の活性化を図るため、依田
原三丁目町内会が、平成24年度宝く
じ助成（社会貢献広報事業）を受け、
山車の修繕を行いました。



今後、地域コミュニ
ティの活動がますます盛んになること
が期待されます。

都市活力再生シンポジウム

～若い世代が永く暮らし働ける都市に向けて～

企画課都市活力再生室 ☎55-2753

とき／3月27日(水) 18:30～21:00

ところ／ロゼシアター小ホール

内容／石井靖幸さん（サントリー
酒類(株)執行役員）による基調講演、
石川良文さん（南山大学総合政策
学部教授）、井上幹世さん（富士商
工会議所青年部会長）ほかによる
パネルディスカッション

定員／300人（先着順）

参加費／無料

申し込み／3月5～19日（必着）に、
直接または電話・はがき・FAX
・Eメールに住所・氏名、職業

（会社名）、年齢、性別、電話番号
を記入し、〒417-8601 富士
市役所企画課都市活力再生室へ

☎53-6669

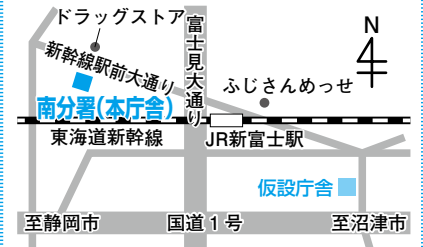
✉so-kikaku@div.city.fuji.shizuoka.jp

西消防署南分署が本庁舎で 業務を再開します

消防総務課 ☎55-2851

耐震補強工事完了に伴い、2月26日
(火)から、本庁舎での業務を再開します。

所在地／水戸島126-1 (☎63-8111)



講座・教室

ひざ痛・腰痛予防教室（無料）

介護保険課高齢者介護支援室 ☎66-3405
 と き／4月10日～6月26日の毎週水曜日 13:30～15:00（6月19日は10:00～11:30）計12回
 ところ／鷹岡まちづくりセンター
 内 容／体操、ストレッチなど
 対 象／ひざ痛・腰痛が気になる65歳以上の人（医療機関受診中の人は、主治医から運動実施の許可が必要）
 定 員／30人（応募者多数の場合抽せん）
 申し込み／3月25日（月）までに、電話で介護保険課高齢者介護支援室へ

ぜん息児水泳教室（無料）

保健医療課 ☎55-2739
 と き／5月～平成26年2月の水曜日 18:30～20:00 計30回
 ところ／温水プール
 対 象／平成13年4月2日～平成20年4月1日に生まれた市内在住の気管支ぜん息児童（主治医の意見書と保護者の送迎・見学が必要）
 定 員／90人（応募者多数の場合抽せん。ただし現在治療中の人を優先）
 申し込み／3月29日（金）（必着）までに、電話または、はがきに郵便番号、住所、参加児童名、生年月日、保護者名、電話番号、講座名を記入し、〒417-8601 富士市役所保健医療課へ

野菜や花などを栽培するためのファミリー農園を貸し出します

農政課 ☎55-2781
 期 間／4月1日～平成26年3月31日
 対 象／市内在住・在勤の人
 貸出区画数／（各応募者多数の場合抽せん）
 富 士 岡7区画 比 奈1区画
 大淵第二4区画 伝 法2区画
 木 島2区画 北松野9区画
 使用料／年間1,400～5,000円程度
 面 積／1区画20～51平方メートル
 申し込み／3月1～14日に、電話で農政課へ（1世帯1区画）

ことばの相談室 ～コミュニケーションを学ぼう～

障害福祉課 ☎55-2761
 ところ／フィランセ東館2階ことばの相談室
 対 象／特別支援学校・学級に通学している児童・生徒（新1年生を含む）とその保護者
 利用回数／月1回（1回につき40分程度）
 利用料／無料
 申し込み／3月15日（金）までに、電話で障害福祉課へ

平成25年5月採用 中央病院職員

病院総務課 ☎52-1131（内線 2217）

採用職種		募集人員	受験資格
看護師・助産師	区分1	計15人程度	昭和37年4月2日以降に生まれた人で、平成24年度に実施する左記職種の国家試験を受験し、当該免許を取得する見込みの人 ※学校推薦による試験方法もあります。
	区分2		昭和37年4月2日以降に生まれた人で、左記職種の免許を有している人
薬剤師		1人	昭和42年4月2日以降に生まれた人で、左記職種の免許を有しているか、平成24年度に実施する左記職種の国家試験を受験し、当該免許を取得する見込みの人

試験日／3月24日（日） 試験会場／市立中央病院
 申し込み／3月18日（月）（必着）までに、市ウェブサイトで電子申請するか、必要書類（病院総務課で配布、中央病院ウェブサイトダウンロード可）、各職種の免許証（既に所有している人）のコピーを直接または郵送で、〒417-8567 中央病院病院総務課へ <http://fujishi.jp/~byoin>

富士市森林墓園使用者募集

■募集区画数

普通墓所 117区画・芝生墓所 54区画

■応募資格

平成24年3月4日以前から市内に在住し、市の住民基本台帳に登録されている人

■使用料

1区画 50万円（一括払い込み）

■管理料

普通墓所／年額 5250円

芝生墓所／年額 6300円

■申し込み

3月4～15日（土・日曜日は除く）の9時～17時に、①墓所使用申込書（環境総務課で配布、市ウェブサイトダウンロード可）、②申込者の住所・世帯全員の氏名が確認でき、本籍・続柄がわかる住民票の写し1通、③認め印、④焼骨のある人は、火葬済証明書などの写しを持参し、直接環境総務課（市役所10階）へ

※事前に、「募集案内書」（環境総務課で配布、市ウェブサイトダウンロード可）を確認してください。

※申し込みをする人は、必ず現地（桑崎991-11）を確認してください。

※申し込みから使用可能まで約1か月かかります。

問い合わせ／環境総務課

☎(55) 2768 ㊟(51) 0522



富士市交流プラザ 各種講座

りぶす富士（交流プラザ） ☎65-5523

教室名	とき	定員	受講料
エイジングケア・エクササイズ	① 4月8日からの毎週月曜日 9:00～10:30 計15回	25人	6,000円
	② 4月8日からの毎週月曜日 10:30～12:00 計15回		
フラダンス	③ 4月8日からの毎週月曜日 19:00～20:30 計10回	40人	4,000円
はじめてのヨガ	④ 4月9日からの毎週火曜日 9:00～10:30 計10回		
腰痛・肩こり解消	⑤ 4月9日からの毎週火曜日 13:30～15:00 計10回		
ヨガエクササイズ（10回）	⑥ 4月9日からの毎週火曜日 18:30～20:00	25人	6,000円
ヨガエクササイズ（15回）	⑦ 4月12日からの毎週金曜日 18:30～20:00		
ファイティング・ボクササイズ	⑧ 4月9日からの毎週火曜日 20:00～21:30 計10回	30人	4,000円
カラダ絞りま専科エクササイズ	⑨ 4月10日からの毎週水曜日 19:00～20:30 計10回		
お腹まわりのシェイプアップ	⑩ 4月11日からの毎週木曜日 10:00～11:30 計10回		

ところ／富士市交流プラザ 対象／一般

申し込み／3月11～17日（必着）の8:30～20:30に、直接または、はがき・FAXに住所、氏名、年齢、生年月日、自宅・携帯電話番号、教室名（時間帯）を記入し、〒416-0915 富士町20-1 富士市交流プラザへ ☎65-5538 ※応募者多数の場合抽せん。FAXの場合は送信後、電話で確認してください。

りぶす富士 各種講座

りぶす富士（温水プール） ☎36-2131

教室名	とき	定員	受講料
硬式テニス	① 4月2日からの毎週火・金曜日 13:00～	30人	6,000円
エイジケアスタイルアップ	② 4月4日からの毎週木曜日 19:00～	25人	4,000円
水中エアロビクス	③ 4月8日からの毎週月曜日 10:00～	30人	6,000円
ボディシェイプアップ	④ 4月8日からの毎週月曜日 19:00～		4,000円
ボディコンディショニング	⑤ 4月9日からの毎週火曜日 10:00～	20人	
親子水泳	⑥ 4月9日からの毎週火曜日 15:30～	15組	5,000円
ヨガ	⑦ 4月9日からの毎週火曜日 19:00～	35人	4,000円
成人水泳	⑧ 4月11日からの毎週木曜日 10:00～	30人	5,000円
女性水泳	⑨ 4月12日からの毎週金曜日 10:00～	35人	6,000円
エアロビクス（夜間）	⑩ 4月12日からの毎週金曜日 19:00～	25人	4,000円
キッズエアロビクス	⑪ 4月13日からの毎週土曜日 9:00～	30人	3,500円
スマートボディサポート	⑫ 4月13日からの毎週土曜日 10:30～		4,000円
小学生水泳	⑬ 4月13日からの毎週土曜日 10:00～		5,000円
ズンバフィットネス	⑭ 4月1日からの毎週月曜日 10:00～	20人	
エアロビクス（午前）	⑮ 4月4日からの毎週木曜日 10:00～	25人	4,000円
フィットネスボール	⑯ 4月12日からの毎週金曜日 10:00～	20人	

ところ／①富士総合運動公園庭球場 ②～⑬温水プール及び軽体育室 ⑭～⑯市立富士体育館
対象／⑥未就学児（3～6歳児）とその親 ⑨女性 ⑪⑬小学生 それ以外は一般
申し込み／3月10～16日（必着）の8:30～20:30に、直接または、はがき・FAXに住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号、教室名を記入し、⑭～⑯は〒417-0041 御幸町8-1 市立富士体育館（☎53-0900 ☎53-0702）、それ以外は〒417-0801 大淵254-1 温水プール（☎36-2131 ☎35-5464）へ ※応募者多数の場合抽せん。FAXの場合は送信後、電話で確認してください。

講座・教室

脳の健康教室（無料）

介護保険課高齢者介護支援室 ☎66-3405

とき／①4月9日～7月16日の火曜日 ②4月12日～7月5日の金曜日 各10:00～11:30 各計12回
ところ／①今泉まちづくりセンター ②天間まちづくりセンター

内容／脳いきいき体操、脳トレゲーム、音楽療法など

対象／おおむね65歳以上で「物忘れがふえた」「外出の機会が減った」と感じる人

定員／①16人 ②20人（ともに応募者多数の場合抽せん）

申し込み／3月25日（月）までに、電話で介護保険課高齢者介護支援室へ ※飲み物を持参し、動きやすい服装でお越しください。

職場における心の健康づくり講演会～働いている人のうつ病対策のために～

健康対策課 ☎64-8993

とき／3月6日（水） 13:30～16:30
ところ／県富士総合庁舎 6階601・602会議室

内容／住吉健一さん（旭化成(株)富士支社産業医）による講演「職場のメンタルヘルス対策について」、丹澤潔さん（静岡こころのサポートセンター会長）による講演「うつ病の予防と職場・家庭での配慮について」

定員／90人（応募者多数の場合調整）
受講料／無料

申し込み／2月22日（金）（必着）までに、電話またはFAXに参加者の住所、氏名、電話番号を記入し、県富士健康福祉センター福祉課へ ☎65-2155 ☎65-2288

夜間納税相談

3月15日（金） 17:15～19:00

収納課 ☎55-2730

3月の納期

3月15日～4月1日

後期高齢者医療保険料 第8期

国民健康保険課 ☎55-2754

料理教室（無料）
「旬とワンポイントの料理教室」

福祉総務課 ☎55-2760

と き／4月9日～9月10日の毎月第2火曜日 10:00～14:00

ところ／地域交流センターみんなの家（南松野2604-1）

対 象／市内在住の60歳以上の人
定 員／12人（応募者多数の場合抽せん）

申し込み／3月1～5日の9:00～17:00（日曜日は除く）に、直接または電話で、地域交流センターみんなの家 斉藤 方へ ☎56-1502

広見児童館休館のお知らせ

子育て支援課 ☎55-2731

広見児童館は、耐震補強工事のため休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

休館中は、ぐるん・ぱ よねのみや、（仮称）東部児童館（比奈115-3、6月開館予定）をご利用ください。
休館期間／4月1日～平成26年4月上旬（予定）

※ぐるん・ぱ よねのみやの開館時間は、4月から通年で9:00～16:45になります。

富士警察署管内事件・事故

忍び込みが多発しています。就寝する際は、戸締まりを確認しましょう。

事件情報 〈12月末現在〉

	年間累計	昨年比
全刑法犯罪	2,476件	- 288件
忍び込み	119件	+ 52件
空き巣	71件	- 2件
自転車盗	487件	- 110件

事故情報 〈1月末現在〉

	年間累計	昨年比
件数	199件	- 6件
死者	0件	- 1件
負傷者	261件	- 2件

安全をつなげて広げて事故ゼロへ

社会福祉センター 陶芸・薬草・墨絵・囲碁教室

社会福祉協議会 ☎64-6600

教室名	とき（祝日などを除く場合あり）	ところ	定 員	受付日
陶 芸	4月2日からの1年間毎月第1・3火・水曜日 10:00～12:00	社会福祉センター 広見荘	20人（先着順）	3月8日（金）～
薬 草	4月3日からの1年間毎週水曜日 9:30～11:30		10人（先着順）	
墨 絵	4月5日からの1年間毎月第1・3金・土曜日 9:30～11:30		20人（先着順）	
囲 碁	4月3日からの1年間毎週水曜日（第5水曜日は除く）9:00～11:00	東部市民プラザ	44人（応募者多数の場合、初めての人を優先し、抽せん）	3月8～10日

対 象／市内在住の60歳以上の人 受講料／無料（別途教材費が必要）
申し込み／各受付日の9:00から受け付けます。直接各会場へ

ラ・ホール富士 各種講座

りぶす富士（ラ・ホール富士）☎53-4300

教室名	と き	受講料	
ステキな体づくり～ 代謝UPトレーニング	① 4月8日からの毎週月曜日 19:00～20:30 計10回	4,000円	
	② 4月10日からの毎週水曜日 9:30～11:00 計10回		
エアロビクス	③ 4月10日からの毎週水曜日 10:00～11:30 計10回		
	④ 4月11日からの毎週木曜日 19:00～20:30 計10回		
スマート健康体操	⑤ 4月10日からの毎週水曜日 19:00～20:30 計10回		
	⑥ 4月12日からの毎週金曜日 9:30～11:00 計10回		
やすらぎの香りの中でヨガ	⑦ 4月16日からの毎週火曜日 10:00～11:30 計20回		8,000円
	⑧ 4月16日からの毎週火曜日 19:00～20:30 計20回		
やすらぎの香りの中でピラティス	⑨ 4月18日からの毎週木曜日 10:00～11:30 計20回		
	⑩ 4月19日からの毎週金曜日 19:00～20:30 計20回		

ところ／ラ・ホール富士 定 員／各30人

申し込み／3月11～17日（必着）の8:30～20:30に、直接または、はがき・FAXに住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号、教室名（時間帯）を記入し、〒417-0052 中央町2-7-1 ラ・ホール富士へ ☎53-2040

※応募者多数の場合抽せん。FAXの場合は送信後、電話で確認してください。すべて受講料には保険料を含みます。

パブリック・コメント募集 ～市政への意見反映制度～

広報広聴課 ☎55-2736

次の案件を策定するに当たり、皆さんの意見を募集します。

案件名／富士市市民協働推進条例（案）

内 容／富士市における市民協働をさらに推進するため、基本理念や役割、市の施策などを定める本条例を策定します

担 当／市民協働課 ☎55-2701 ☎53-6663
E-mail: si-kyoudou@div.city.fuji.shizuoka.jp

募集期間／3月1日～4月1日

提出方法／直接または郵送・FAX・Eメール・市ウェブサイトの専用フォームで、〒417-8601 富士市役所市民協働課へ
※詳しくは、募集開始日以降に、市民協働課・中央図書館及び各地区まちづくりセンターにある資料、市ウェブサイトのパブリック・コメントコーナーをごらんください。

暮らしの

カレンダー

3月 MARCH

【弥生】

- 自殺対策強化月間
- 子ども電話相談強調月間

3月の 博物館

- 館蔵品展「あそび・まなび・こどもの生活」～4月7日
- 第1日曜日「博物館の日」3日
手漉き写経用紙・鑄造ペンダント・手すきハガキ・ピカピカ泥だんごづくりほか
- 陶芸歳時器 9日
- 陶芸自由開放日 10日
- ※休館日 4・11・18・21・25日



「ピカピカ泥だんごづくり」から

1 金	富士市立高等学校卒業式 3歳児健診 子どもの予防接種週間～7日 春季火災予防運動～7日 女性の健康週間～8日
2 土	市立看護専門学校卒業式 観梅ウエディング(岩本山公園) 市民文芸表彰式・富士文芸フォーラム(ロゼシアター) 全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会(県富士水泳場)～3日 Cricket(クリケット) Festa2013(富士川緑地)～3日
3 日	三世代交流千人集会吉永北地区菜の花の里まつり(鶴無ヶ淵公園) 善得寺まつり(善得寺公園・今泉5) 市民課など窓口開庁 日曜納税相談 愛の援聴週間～9日 [耳の日]
4 月	森林墓園墓所使用者申込受付(市役所10階環境総務課)～15日 →P13 離乳食講習会・ぱくぱく期
5 火	五軒屋の稲荷さん(中丸) すくすく赤ちゃん講座 公証役場出張相談
6 水	高齢者虐待防止シンポジウム(フィランセ西館) 結婚相談 離乳食講習会・ごっくん期 津波対策推進旬間～15日
7 木	献血 →P12 1歳6か月児健診 人権相談
8 金	市民交通傷害保険申込受付(市役所2階)～4月10日 3歳児健診 行政相談
9 土	着物DE撮影会、夜梅×竹かぐや(岩本山公園)
10 日	津波対策訓練(田子浦・元吉原・今泉地区) 出生記念樹配付(各地区まちづくりセンター) 田子浦みなとマラソン大会(ふじのくに田子の浦みなと公園) 東比奈2丁目医王寺の初薬師 献血 →P12 結婚相談
11 月	離乳食講習会・かみかみ期
12 火	普通救命講習 すくすく赤ちゃん講座 労務相談
13 水	結婚相談
14 木	1歳6か月児健診 人権相談
15 金	夜間納税相談 →P14 3歳児健診 子どもの安全を守る市民行動の日 2013クラブジュニアアルティメットドリームカップ(富士川緑地)～17日

16 土	認知症サポーター養成講座(フィランセ) 新豊院大観音祭(岩淵)～17日
17 日	宮下稲荷神社祭 中野の観音さん 麻薬・覚せい剤撲滅の日 [彼岸入り]
18 月	市立幼稚園卒園式 離乳食講習会・ごっくん期
19 火	小・中学校卒業式、修了式 荒沢不動尊例大祭(北松野) すくすく赤ちゃん講座 不動産に関する相談 食育の日
20 水	中里慶昌院の弘法さん [春分の日]
21 木	献血 →P12 1歳6か月児健診 人権相談 [世界ダウン症デー]
22 金	3歳児健診 行政相談
23 土	市立保育園卒園式 ふじのくに地産地消の日
24 日	いちばの朝市(公設地方卸売市場) 穴原の天神さん(大淵) 結婚相談 [世界結核デー]
25 月	ロゼシアター臨時休館 夜間納税相談
26 火	普通救命講習 労務相談
27 水	富士市都市活力再生シンポジウム(ロゼシアター) 結婚相談
28 木	神谷の不動さん 人権相談
29 金	献血 →P12 JOCジュニアオリンピックカップ大会19歳以下クリケット選手権(富士川緑地)～30日
30 土	広見さくら祭り(広見公園)
31 日	博物館さくらまつり 市民課など窓口開庁

平成25年2月20日号(毎月5日・20日発行)

こちら編集室

今回の「富士市の災害の歴史」はいかがでしたか。過去、富士市においてもさまざまな自然災害があったことを知り、とても驚きました。県では、東海・東南海・南海の3連動地震や南海トラフ巨大地震が不安視されています。東日本大

震災以降、「津波」の脅威に関心が高まっていますが、東海地震は「強い揺れ」による、建物の倒壊などが懸念されています。建物や家具などの耐震補強を確認するなど、自分でできる災害対策について考えてみてはいかがでしょうか。(kt)

人口 260,091人 (前月比-91)
男 128,738人 (-54)
女 131,353人 (-37)
世帯 99,212世帯 (-34) 1月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123 ㊟0545-51-1456

問い合わせは
おしえて
コマルふじ
53-1111
受付時間
8:30～19:00